

整理番号	51-4	事務事業名	消防車両等整備事業		作成部署	消防本部警防課	電話	内線 699
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	中津 史郎	課長職名	野村 誠	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S49	根拠法令等	消防法の消防力の基準					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	老朽化が著しい車両の更新及び消防装備の高度化、多様化を図るため計画的な整備が必要となった。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第 1 章)
	節	防災と消防	(第 7 節)
	施策	消防、救急活動の強化	(第 3 施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	消防車両	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	高規格救急自動車を導入し救命率の向上を図る。また、多様化する災害に対処するため高機能の消防車両を計画的に更新する。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	H13 水槽付消防ポンプ車を化学消火薬剤積載の化学消防自動車に更新して、本署に配置。 H13 老朽化した機械式はしご消防自動車(24年経過)をジャイロ式はしご自動車に更新して、本署に配置。 H15 普通救急自動車を高度救命資機材搭載の高規格救急自動車に更新して、大曲出張所に配置。
		17年度	消防署(本署)に配置している高規格救急自動車を更新する。

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金	17,558		17,676	
	道支出金				
	地方債	6,800		12,000	
	その他特財				
	一般財源	3,152		4,261	
	合 計	27,510	0	33,937	0
人件費 (概算)	人数(年間)	0.30		0.30	
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	2,700	0	2,700	0
総事業費 +		30,210	0	36,637	0

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	整備車両数				
	(高規格救急自動車)	1台		1台	
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	更新台数	1台		1台	
	消防車、救急車総台数	17台	17台	18台	18台
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1台あたり整備コスト(千円)	30,210		36,637	
	(総事業費/整備車両数)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	当市の災害出動は、高齢化により救急出動が増加しており、また、都市構造の変化、道路網の整備により交通事故も増加している。今後は、救急需要に対応するため高規格救急自動車の更新、交通事故等に対処するため老朽化著しい救助工作車の更新が必要となっている。消防車両の更新は、災害の被害を軽減し、社会公共の福祉増進に資することが目的であり、近隣市においても同様に更新計画に基づき整備している。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	消防車両の整備は、市の責務であり関与は妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	平常時、災害発生時を問わず消防業務は複雑、多様化しており、施設及び職員の災害対応に係る技術等の修練はもとより、施設及び装備の近代化が重要であることから妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	計画的に更新時購入を行っている。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	化学車、高規格救急自動車など従前の車両より装備状況が高度化され、市民の緊急時の安全対策、消防活動及び救命処置等に十分成果が上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	最小の台数で最大の効果を上げるよう計画的に更新しており、効率的に実施されている。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	消防車両等の更新は、老朽化が著しい車両及び消防装備の高度化、多様化を図らなければならない装備を重点的に整備していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり